

**[成果情報名]長崎ラベンダー「リトルマミー®」における春開花後の切り戻し及び鉢替えの処理による  
9月出荷技術**

**[要約]** 長崎ラベンダー「リトルマミー」の鉢物及び苗物栽培において、春の開花後の7月上旬に花梗の切り戻し及び鉢替えの処理を行うことにより、9月出荷が可能になる。

**[キーワード]** 長崎ラベンダー、「リトルマミー」、鉢替え、切り戻し、開花

**[担当]**長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

**[代表連絡先]**電話（代表）0957-26-3330（直通）0957-26-4326

**[区分]**花き

**[分類]**指導

**[作成年度]**2013年度

---

**[背景・ねらい]**

長崎ラベンダー「リトルマミー」は、県花き振興協議会鉢物部会ラベンダー研究会（生産者7名）の新たなオリジナル商品である。本品種は、従来の「城南1号」と同様に耐暑性及び春と秋の2度開花する二季咲き性を有するだけでなく、「城南1号」に比べ開花時期が早い、蕾の紫色が濃い、草姿がコンパクト等の特長を有し、より商品性が高く、生産者の期待が大きい。

本品種を露地の地植えで栽培すると5月下旬に開花最盛期となり、開花終了後花穂を切除すると8月中下旬にもう一度開花する。ここでは、需要期である秋のガーデニングシーズンや「敬老の日」（9月15日から21日の間の月曜日）に鉢物や苗物として出荷するため、花梗の切り戻し及び鉢替えの処理の時期が開花時期に及ぼす効果を明らかにする。

**[成果の内容・特徴]**

1. 「リトルマミー」は、花梗の切り戻し及び鉢替えの処理（写真1）を6月1日に行うことで7月19日に開花、6月15日処理で8月7日開花、6月29日処理で8月27日開花、7月13日処理で9月17日開花となることから、9月出荷を目指す場合は、7月上旬に処理を行う（表1）。
2. 7月13日処理において、「城南1号」では、花穂形成株率0%であるのに対し、「リトルマミー」では、花穂形成株率100%、花穂数14本/株である（表1）。
3. 「リトルマミー」では、いずれの処理日においても「城南1号」より開花が早くなり、花穂数が2倍から3倍と多くなる（表1）。
4. 「リトルマミー」では、6月1日処理7月19日開花、6月15日処理8月7日開花、6月29日処理8月27日開花の各区において、小花が開かない奇形花の発生が見られる（表1・写真2）。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 試験実施年の6月から9月までにおける平年値に対する月毎の日平均気温の差と日照時間の割合は、6月+0.9℃・61%、7月+1.5℃・107%、8月+1.4℃・111%、9月+0.3℃・128%であり、平年に比べ7月から9月の気温が高く、日照時間も多い気象条件である（長崎地方气象台）。
2. 切り戻しは、花梗に葉を2対付けて株から切除する。また、切り戻しと同時に4号ポットへの鉢替えを行う。
3. 「リトルマミー」において、露地の地植え栽培では奇形花の発生は認められないことから（データ省略）、7月下旬から8月下旬の開花となる場合は、ハウス内の下温対策を行う必要がある。

[具体的データ]



写真1. 株の切り戻し及び鉢替えの処理



写真2. 7月下旬から8月下旬の開花で発生する奇形花

表1. 長崎ラベンダー「リトルマミー」における春の開花終了後の株の切り戻し及び鉢替えの処理時期が開花に及ぼす影響

品種	切り戻し及び鉢替え日	花穂形成株率 (%)	開花日	開花までの日数	花穂数/鉢 (本)	うち正常花穂数/鉢 (本)	うち奇形花穂数/鉢 (本)
リトルマミー	6月1日	100	7月19日	48	24	22	2
	6月15日	100	8月7日	53	19	12	7
	6月29日	100	8月27日	59	22	18	4
	7月13日	100	9月17日	66	14	14	0
城南1号 (対照)	6月1日	100	7月23日	52	10	10	0
	6月15日	100	8月27日	73	9	9	0
	6月29日	100	8月31日	63	6	6	0
	7月13日	0	-	-	0	0	0

注1) 花穂除去は花穂の部分のみを切除 各区とも6月1日に除去

注2) 切り戻しは花梗に葉を2節付けて株から切除 切り戻しと同時に4号ポットに鉢替え

注3) 花穂数は上位2節の葉から花穂の先端までの長さが7cm以上のものをカウント

注4) 数値は各区8株調査による平均値 調査時のポットのサイズは4号

※耕種概要

挿し芽 : 2012年6月21日 128穴セル成型トレイ

サカタスーパーミックスA: パーライト=2:1

鉢上げ : 10月12日 3号黒ビニールポット

鉢替え : 切り戻し日 4号黒ビニールポット

用土 : 日向ぼら土(小粒): ピートモス(pH調整): くん炭: パーライト=5:5:1:1  
 苦土石灰1g/用土1L

温度管理 : 鉢上げ(3号)から試験終了まで無加温・開放のハウス

春の開花 : 5月中下旬

長日処理 : 白熱電球(100v75w)をベンチ上約1mの高さに設置

切り戻し及び鉢替え日から発蕾確認の時期まで暗期中断(22時~2時)

[その他]

研究課題名 : ながさきオリジナル品種育成促進事業

研究期間 : 2012年度~2014年度

予算区分 : 県単(農産園芸課)

研究担当者 : 竹邊丞市